

長野県須坂市 古民家再生プロジェクト

— 平成30年度活動報告 —



文化学園大学・東京工科大学

■活動概要

- ▶ 2009年度より、文化学園大学 文化・住環境学研究所の共同研究としてスタート
- ▶ 文化学園大学・東京工科大学の学生、教員が参加
- ▶ 数日間古民家に滞在し、ワークショップや改修作業の活動を行う



須坂市「蔵の町並みキャンパス」に参加

文化学園大学 文化・住環境学研究所の共同研究としてスタート

■目的

①古民家の活用

伝統的生活や建築の理解

現代社会の適応への模索

②様々な拠点づくり

産・学・官・民を結ぶ拠点

地域の人々を結ぶ拠点

都市と地方を結ぶ拠点

③新しいものづくり教育

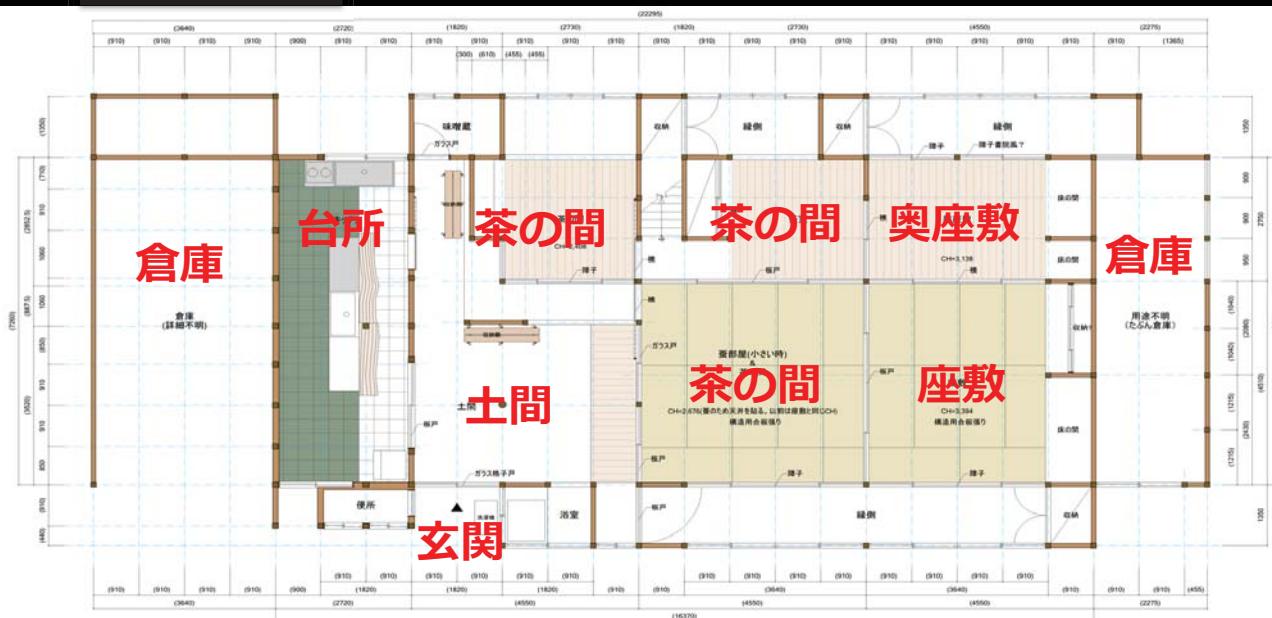
地域の人々の交流

古民家での生活・再生体験から現代生活のあり方を考える

教育環境の多様化、ものづくりを学ぶ新しい場の可能性

■古民家の概要

現在平面図



■ 2017年度の活動①

玄関土間の改修：三和土（たたき）仕上げ



玄関土間の改修



左官屋さんの指導のもと、
ベト（粘土質の土）を敷いて平らにならす

玄関土間の改修



ガラスのモザイクタイルを埋め込んで、三和土に装飾をする



モザイクタイル

■ 2017年度の活動②

「外構整備（キッチン入口部分）」



外構整備



デザインが決まつたら皆で並べる（立てる）

外構整備



瓦の間にベトを入れ、仕上げに瓦の模様ができる
よう、刷毛（はけ）で端部を擦る（こする）

■ 2017年度の活動③

「南側座敷改修」

フローリングにする



南側座敷改修



部屋のサイズに合わせて木材を切り「根太」を敷く

南側座敷改修



杉の無垢材を敷き詰める。アテ木で詰めて釘を打つ

■ 2017年度の活動④

「キッチンでできる染織ワークショップ」



玉ねぎ、桜の葉を洗って乾かす

煮汁を染液とする

染液に布（綿、絹）を漬ける

媒染液に漬け色を定着させる

染織ワークショップ



染めている最中

染織ワークショップ



染め上がり：黄色は玉ねぎ、ピンクは桜、薄緑は藍

■ 2017年度の活動⑤

「郷土料理ワークショップ」



「おやき」は様々な種類

輪切りにした丸茄子
丸茄子に味噌を挟む
小麦粉の皮で包んで蒸す

地元に根付く伝統の味

郷土料理ワークショップ（ニラせんべい）



「ニラせんべい」

ニラと小麦粉と水を混ぜる

ホットプレートでクレープのように焼く

甘辛味噌をぬって食べる



■ 2017年度の活動⑥

「仁礼まちづくり協議会と交流会」



仁礼町 少年神楽の会による神楽演奏

区長さんら 須坂市まちづくり協議会等の方との懇談会



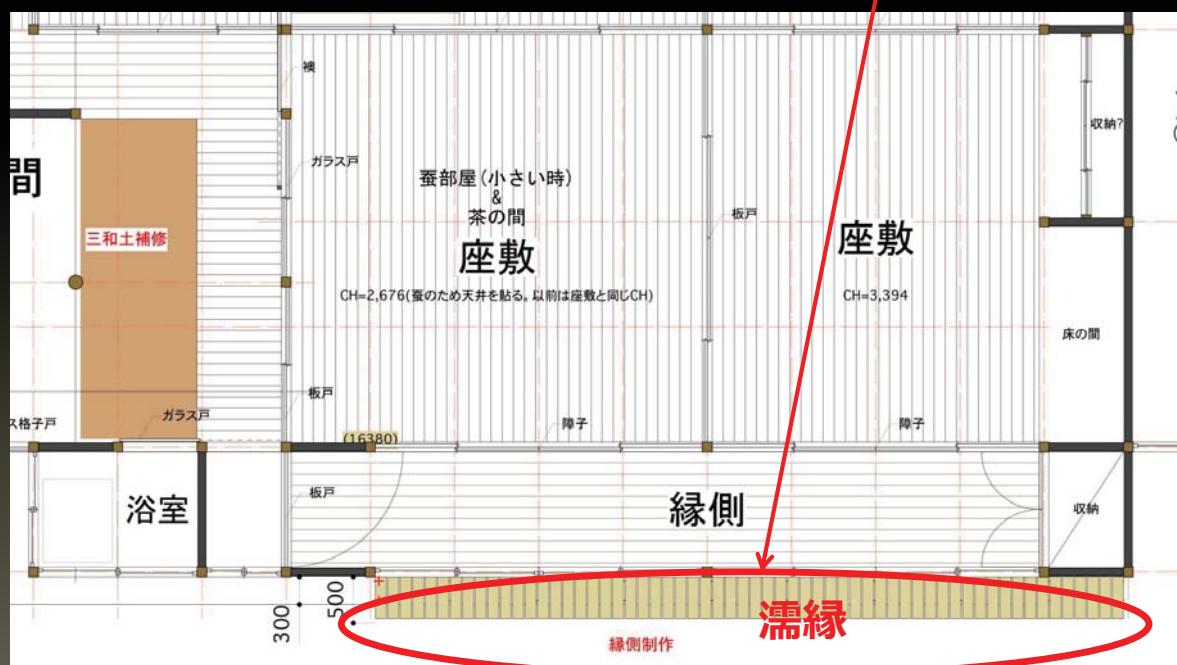
地域の人々との交流会

■ 2018年度の活動①

「濡れ縁（ぬれえん）の制作」

縁側の外側に、濡れ縁をつくる

平面図



制作風景



濡れ縁の受材を取り付ける

制作風景



濡れ縁の足を付ける

制作風景



濡れ縁の土台部分を先に制作する

制作風景

濡縁完成



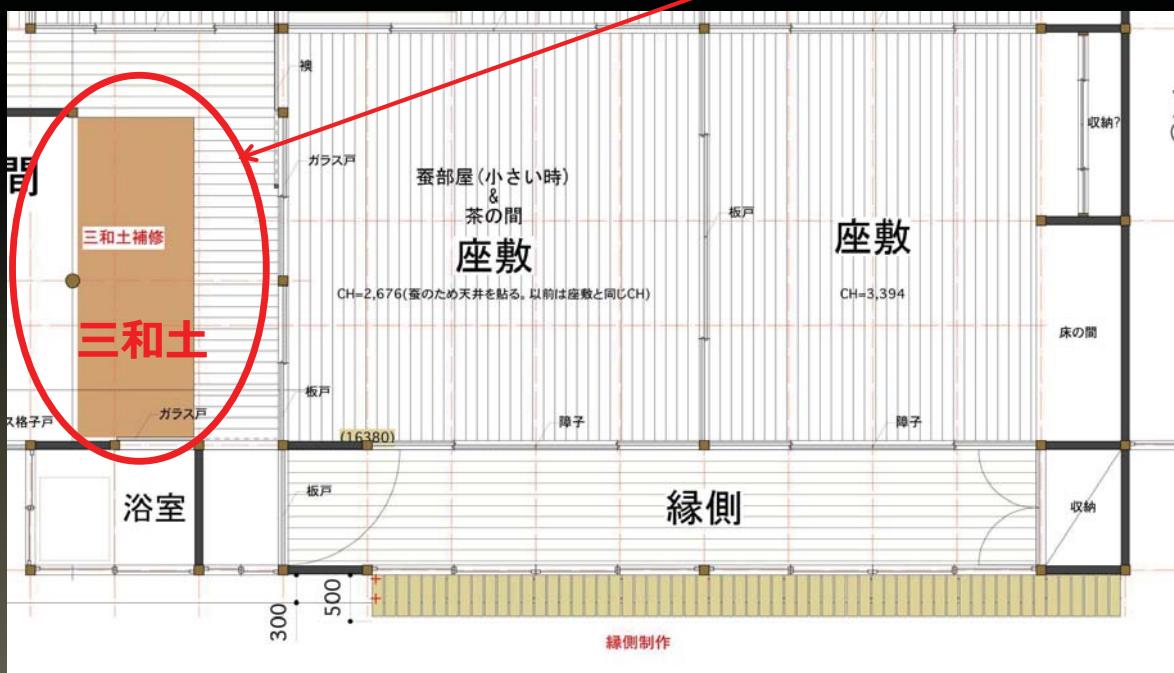
制作風景

濡縁完成

**■ 2018年度の活動②****「土間の三和土（たたき）の補修」**

昨年度、施工した三和土のヒビの補修をする

平面図



ヒビ



左官屋さんの指導



練り土を詰める

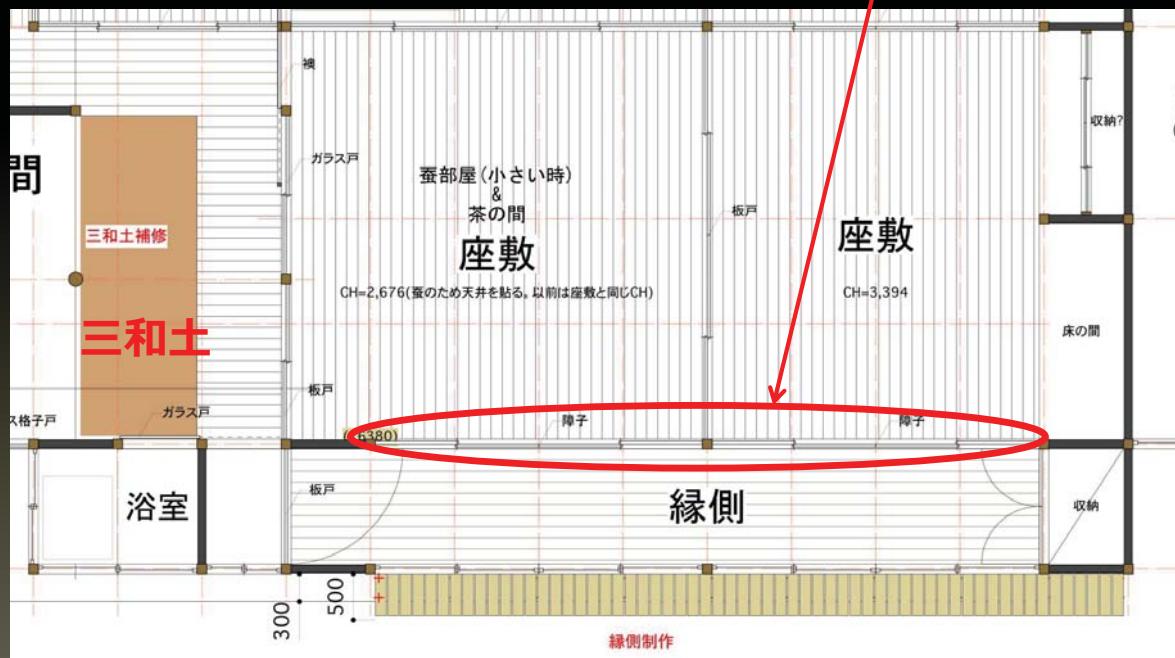


■ 2018年度の活動③

「捺染カーテンの制作」

合宿の前に、古民家の古くなったカーテンを
新しく制作した

平面図



捺染技法による制作

大学の捺染室で制作



捺染技法による制作



捺染技法による制作



捺染技法による制作



■ 2018年度の活動④

「ピザ窯づくりと、オリジナル須坂ピザづくり」

今年のワークショップ企画は、
「須坂オリジナルピザづくり」

手づくりピザ窯



ドラム缶を切る

手づくりピザ窯



手づくりピザ窯



ワークショップ企画 須坂オリジナルピザづくり



ワークショップ企画 須坂オリジナルピザづくり



ワークショップ企画 須坂オリジナルピザづくり



ワークショップ企画 須坂オリジナルピザづくり



ピザを焼く

ワークショップ企画 須坂オリジナルピザづくり



■ 2018年度の活動⑤

「地域交流 郷土料理三昧のお昼ご飯」

須坂市の生涯学習促進委員会 仁礼分室の
皆さんによる、郷土料理のご馳走

地域交流企画 郷土料理のご馳走



地域交流企画 郷土料理のご馳走



地域交流企画 郷土料理のご馳走



■ 2018年度の活動⑥

「地域交流 中学生による御神楽の演奏」

子どもも神楽の皆さんのが中学に進学し、
御神楽を披露して下さいました

地域交流企画 御神楽の演奏披露



■ 成果

- I期は現地で滞在するための作業・食事・就寝空間の整備が主な活動内容であった。
- I期後半～II期に入ると基本整備が完了し、地域住民とのワークショップや地域資源を活用した活動も増加した。
- III期からはキッチン整備をし、古民家改修をさらに進めることで、地域の活動拠点として活用することができるようになった。活動を支援してくださる地域住民との輪が広がった。



須坂市「蔵の町並みキャンパス」に参加
文化学園大学 文化・住環境学研究所の共同研究としてスタート

■須坂市古民家再生プロジェクトの課題と展望

①学生によるプロジェクトの運営

現時点では、基本企画については教員が実施

長期休暇中の有志による活動のため学生を参画させることが難しい

学生主体のプロジェクトを実施するための組織作りが必要

引き継ぎ

ディスカッション

企画・運営

②ワークショップ実施内容の拡大

プロジェクトに参加する人が増加し、多様化することで

企画の多様化、拡大が図れる。

③多様な企画を可能にする活動拠点としての整備の継続

活動拠点としての更なる整備、拡充を計っていく

活動の場と就寝の場を分けることで、参加しやすい環境作り

ご清聴ありがとうございました

